

株式会社日本政策投資銀行 東北支店の取組み

2025年5月28日



東北支店長 岡井 覚一郎

プロフィール

2024年3月31日現在

本支店・事務所・海外拠点



設立

2008年（平成20年）10月1日

（旧日本開発銀行 1951年（昭和26年）設立）
（旧北海道東北開発公庫 1956年（昭和31年）設立）
（旧日本政策投資銀行 1999年（平成11年）設立）

代表取締役社長 地下 誠二

職員数 1,261名

資本金 1兆4億24百万円（全額政府出資）

本店所在地 〒100-8178 東京都千代田区大手町一丁目9番6号

URL <https://www.dbj.jp>

支店・事務所等 支店10カ所、事務所8カ所、海外現地法人4カ所

総資産額 21兆3,533億円

貸出金残高 14兆9,222億円

総自己資本比率 17.67%（バーゼルⅢベース、国際統一基準）

発行体格付 A1 (Moody's)、A(S&P)、AA+ (R&I)、AAA (JCR)

（上記は単体ベース）

会社情報

組織図



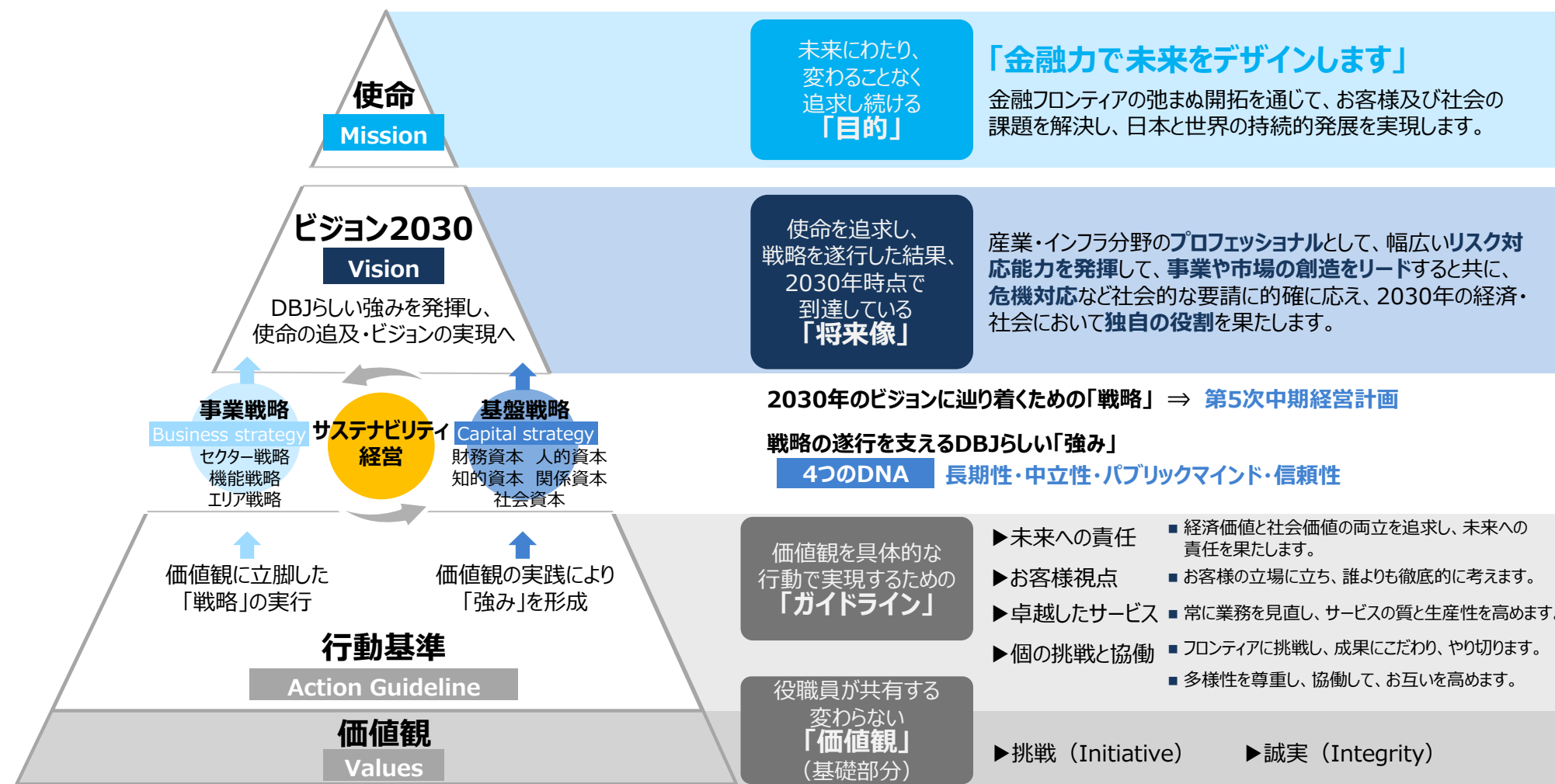
事務所：函館、釧路、青森、富山、松江、岡山、松山、大分

海外現地法人：DBJ Singapore Limited, DBJ Europe Limited, 政投銀投資諮詢（北京）有限公司, DBJ Americas Inc.

※投資管理本部は、経営企画部、業務企画部、審査部、リスク統括部、経理部等の関係部にて構成

DBJグループの企業理念体系

- 今日までのあゆみに加え、今後想定される様々な環境変化や社会課題を踏まえて設定された使命（存在意義）と役職員が共有する価値観（変わらないもの）、そして2030年時点において目指すべき姿である「ビジョン2030」から構成される。
- 企業理念に基づく**当行グループの強み**として、**4つのDNA（長期性、中立性、パブリックマインド、信頼性）**を位置付ける。



DBJグループの金融サービス

融資部門	投資部門	コンサルティング／ アドバイザー	アセットマネジメント
中長期融資やプロジェクト ファイナンスなどの仕組み金融 及び劣後融資の提供	メザンファイナンスや エクイティなどの リスクマネーの供給	仕組み金融のアレンジャー、 M&Aのアドバイザー、 産業調査機能や環境・ 技術評価等のノウハウ提供	多様なオルタナティブ投資に おける運用機会を提供
■ 中長期融資 ■ ストラクチャードファイナンス ■ アセットファイナンス（不動産） ■ シンジケート・ローン ■ ABL（資産担保融資） ■ 事業再生ファイナンス（DIPファイナンス等） ■ 危機対応業務	■ メザンファイナンス（劣後ローン・優先株等） ■ LBO／MBO ■ エクイティ投資（企業、不動産、インフラ等） ■ ファンド投資（LP投資等） ■ 特定投資業務	■ M&Aアドバイザーサービス ■ 女性起業サポート ■ イノベーション創造サポート ■ 新規事業開発サポート ■ 公有資産マネジメント	■ 不動産アセットマネジメント事業 ■ グローバルファンド投資事業（PEファンド、インフラファンド等）

投融資一体型の金融サービス

DBJのサステナビリティ関連サービス

お客様の持続的な価値創造＝サステナビリティ経営に伴走するパートナーとして

- 世界共通の目標が掲げられた国連SDGs、第4次産業革命がもたらす非連続の社会変革等、様々なメガトレンドが台頭しています。
- DBJは、お客様の経営に大きなインパクトを与えうる長期的な事業環境の変化を踏まえ、リスクを低減するとともに、**社会課題の解決を通じて持続的な成長を実現するための伴走パートナーを目指します。**

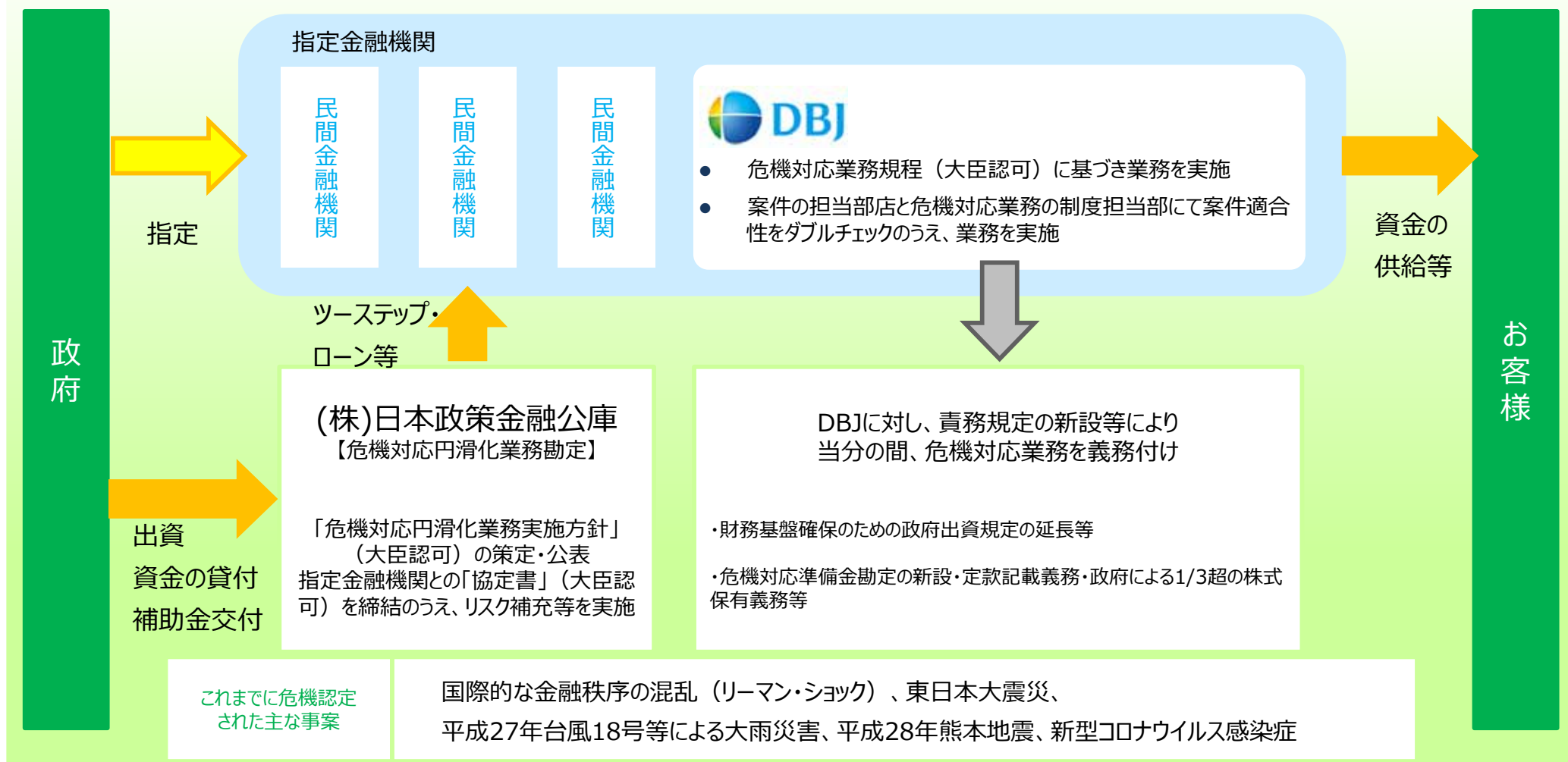
→ 「サステナビリティ」を軸に、以下の **1)ファイナンスサービス、 2)コンサルティングサービス** をご用意しております。

1) サステナビリティ ファイナンスサービス		2) サステナビリティ コンサルティングサービス	
融資×非財務対話 その他	◆ <u>DBJサステナビリティ評価認証融資</u>	◆ <u>サステナビリティ経営診断サービス</u>	
	  	◆ <u>サステナビリティ経営構築・高度化サービス</u>	
	◆ <u>DBJ-対話型サステナビリティ・リンク・ローン</u> ◆ <u>トランジション・ファイナンス</u>	● <u>サステナビリティ経営全般</u> ー 長期ビジョン、サステナビリティ基本方針策定 ー マテリアリティ特定、KPI設定支援 ー サステナビリティ推進体制構築 等 ● <u>TCFD対応支援</u> ー 世界観の構築 ー リスク・機会の特定、対応策の策定 ● <u>TNFD対応支援</u>	
	◆ DBJ Green Building認証 など	◆ <u>事業開発支援サービス</u> ◆ <u>特許分析支援サービス</u>	



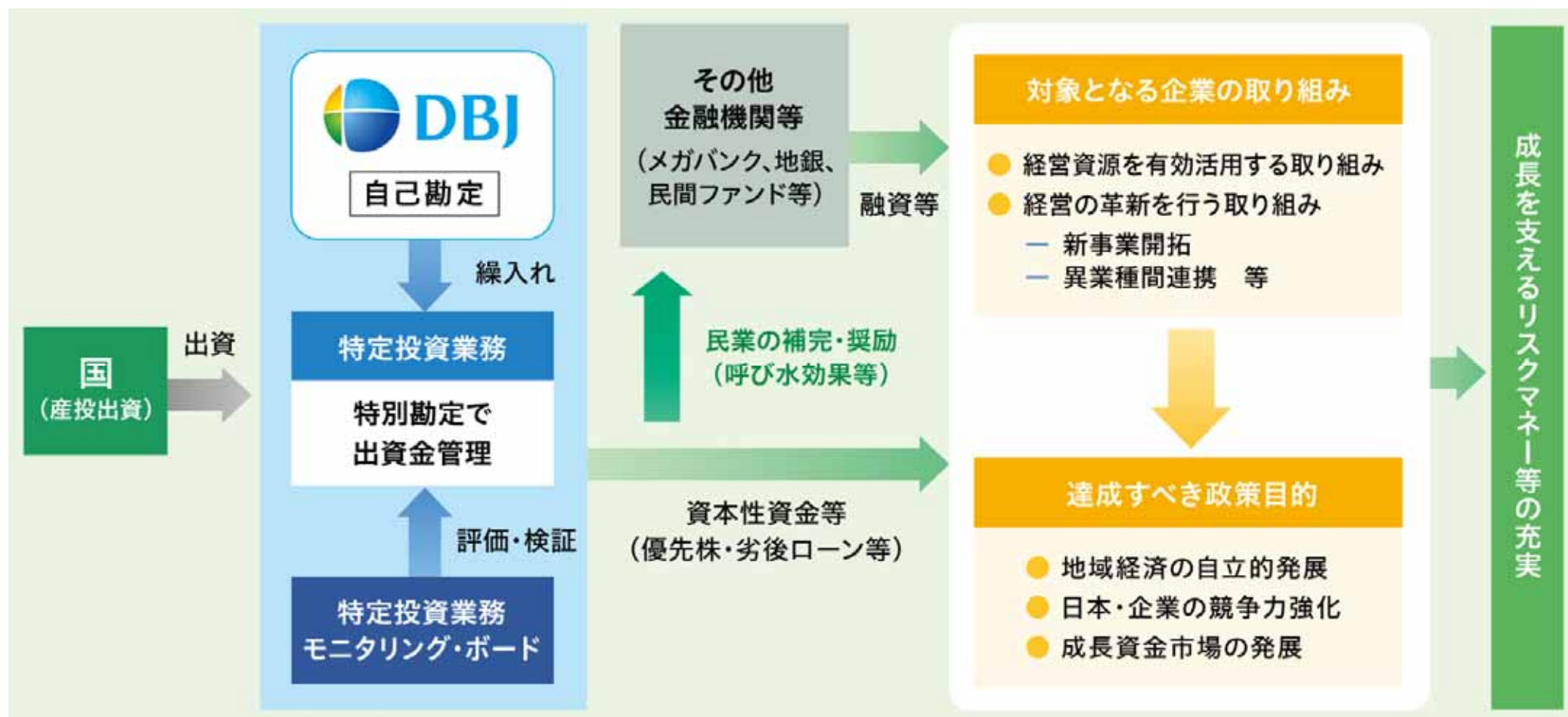
危機対応業務

- 危機対応業務とは、株式会社日本政策金融公庫法に基づき、内外の金融秩序の混乱、大規模災害等の危機発生時において、（株）日本政策金融公庫からツーステップ・ローンなどのリスク補完等を受け、政府が指定する金融機関（指定金融機関）が、危機の被害に対処するために必要な資金を供給する業務です。



特定投資業務

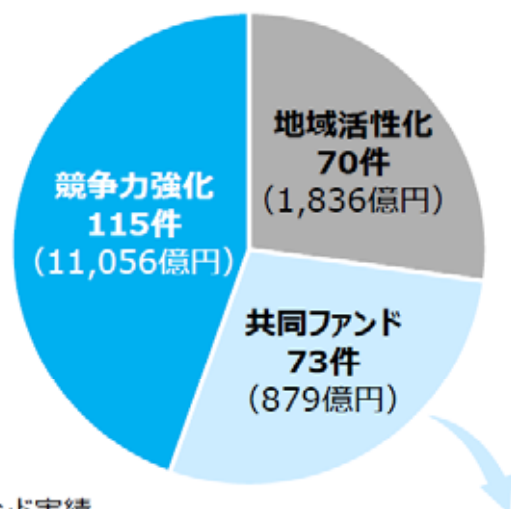
- 特定投資業務とは、民間による成長資金の供給の促進を図るため、国からの一部出資（産投出資）を活用し、企業の競争力強化や地域活性化の観点から、成長資金の供給を時限的・集中的に実施することを企図して設けられたものです。



特定投資業務に係る実績等

- 2015年6月の業務開始以来、2025年3月末時点で **258件／1兆3,773億円**の投融資を決定
- 特定投資業務にかかる2024年度の純利益は159億円、業務開始以来の累計では**712億円の黒字**（参考速報値）

テーマ別の累計決定実績（2025/3末）



共同ファンド実績

属性	ファンド数	決定件数※	決定金額※
銀行系	25ファンド	64件	256億円
その他	48ファンド	645件	623億円
合計	73ファンド	709件	879億円

※ 当行が特定投資業務として投融資決定を行った件数及び金額

重点分野への取組（2025/3末累計決定実績）

2020/3～	 スタートアップ・イノベーションファンド	75件・703億円
2021/2～	 GX（グリーン投資促進ファンド）	19件・1,066億円
2024/2～	 サプライチェーン強靱化・インフラ高度化ファンド	9件・1,205億円

※ 新型コロナリバイバル成長基盤強化ファンド：2020年5月～2024年6月（15件・2,516億円）

Exitの実績等（2025/3末）

＜Exit実績＞ 累計**52件／元高2,189億円**

＜国庫納付＞ 累計**1,529億円**

Exit案件全件を対象とした政策評価（※）を実施。**Exit案件52件のうち36件が（概ね）想定通りの政策効果を発現**との評価がなされている。

※ 特定投資業務の政策目的（①競争力強化、②地域活性化、③成長資金に係る市場発展）にかかる定量的な評価・検証を実施。

お問い合わせ先

ご質問、ご相談等がございましたら、何なりと下記連絡先にお問い合わせください。

連絡先

株式会社日本政策投資銀行 東北支店

 TEL: 022-227-8181

著作権 (C) Development Bank of Japan Inc. 2025
当資料は、株式会社日本政策投資銀行（DBJ）により作成されたものです。

本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、取引などを勧誘するものではありません。本資料は当行が信頼に足ると判断した情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性・確実性を保証するものではありません。本資料のご利用に際しましては、ご自身のご判断でなされますようお願いいたします。

当行の承諾なしに、本資料（添付資料を含む）の全部または一部を引用または複製することを禁じます。